

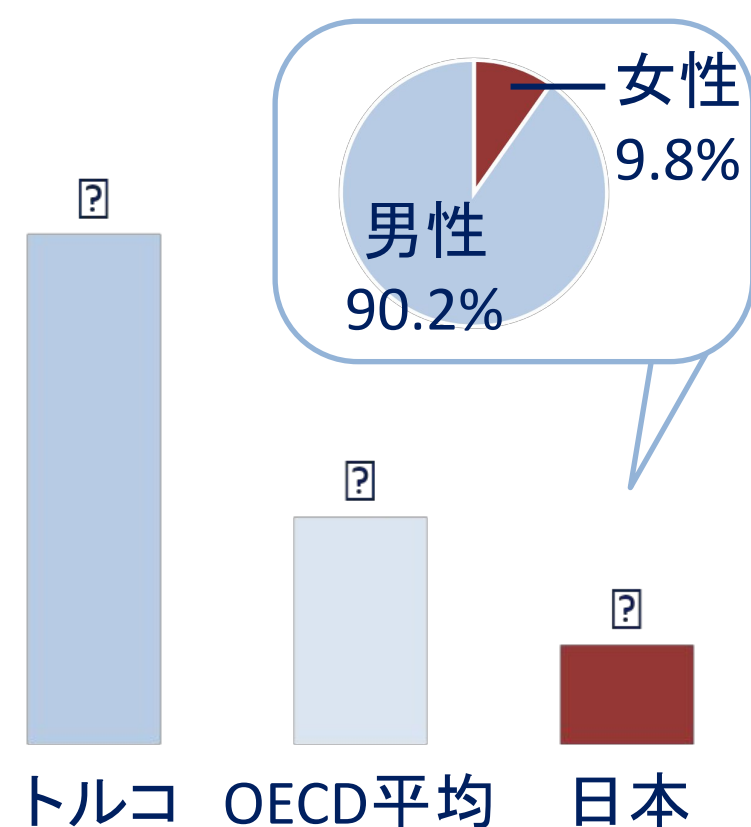
女性がSTEAM教育にふれる機会を！

～プログラミング・ロボット分野での女性活躍を広げる～

追手門学院大手前高等学校 坂田知瞭

今の現状

国別のIT分野の卒業生における女性比率(※1)



IT分野を専攻した卒業生に占める女性比率についてECD各国を比較したところ、日本は、9.8%と唯一1割を切り、OECD最下位。

そして、世界的にもSTEAM教育、とくにロボットやプログラミングの教育分野では**男性が多い**。

(※1)ヒューマンリソース、IT分野のジェンダーギャップに関するグローバル調査
https://corporate.resocia.jp/info/news/20250307_it_gender

私の提案

STEAM教育、とくにロボットやプログラミングの教育分野で**男性が多い**のは、性別に基づく**固定的なイメージ**の影響だと考えられる。

女性は少数派なため、エンジニアやプログラマー育成の場に女性がもっと活躍できるよう提案したい。



サッカー＝男子
バレエ＝女子
吹奏楽＝女子
ロボット＝男子

自分の経験と解決に向けて

高校からロボットやプログラミング分野の活動に。未経験の私が、Unity環境下でC#を使って食品安全アプリ開発に挑戦した。

「楽しい」「やりがいがある」と実感

STEAM Girls Award優秀賞を受賞。

社会的評価も得ることができた



さらなるSTEAM教育に取り組む意欲に

もっと女性の仲間をふやしたい！

STEAM教育分野で女性が少ないのは、**ふれる機会がない**からではないか

女性がSTEAM教育にふれる機会をふやすために…

解決に向けて

- ・幼少期から、STEAM分野に触れる機会
- ・女性の指導者から学ぶ機会
- ・発達段階に応じて寄り添う指導者の存在
- ・STEAM教育の成果を発表する機会
- ・比較(勝ち負け)ではなく、個としての成長を評価する発表会などの経験

上記の機会の創出・増加が重要と考える。

具体的な解決法の提案

私がSTEAM教育に興味を持ったのは、女子高生によるロボット講座に参加したのがきっかけ。高校生になって、アプリ開発に取り組む傍ら、小学生向けのロボット講座を年に5回ほど実施し、女子も多数参加！年齢が上がるほど女子STEAM分野への参加率が減少する(※2)ため、早い段階から「女子がSTEAM分野に関わるのは一般的」と伝われば、女子も自然に参加できる。少人数でも女子(とくに世代の近い女子中高生)が活躍している事実を発信することが大切。

女子中高生によるSTEAM講座(ロボットやプログラミング)の展開が解決につながると考える。



(※2)National Library of medicine, STEAM教育における男女格差：WROの女子参加者に関する調査研究
<https://pubmed.ncbi.nlm.nih.gov/37359821/>

まとめ

STEAM教育をテーマにマレーシアの学生と交流。マレーシアの方が、学校教育において、STEAM教育が積極的に展開されており、熱心に取り組む女子生徒も多い。

日本でも、男女関係なく、もっともっとSTEAM教育にふれる機会をつくるべきと考える。

固定観念をなくし、ふれる機会をつくることで、STEAMで活躍する女性がふえる！